

定例教育委員会会議録

(令和3年2月10日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会

日 時 令和3年2月10日(水)
9時30分～
場 所 市役所6階 605会議室
署名委員 太田委員、高木委員

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 社会教育委員の委嘱について【資料No.1】(非公開) (生涯学習課)
2. 岡谷市教育委員会表彰について【資料No.2】(非公開) (教育総務課・生涯学習課)

○ 報 告

1. 令和3年度予算(案)について【資料No.3】 (各課)
2. 岡谷市公共施設個別施設計画(案)について【資料No.4】 (各課)
3. 令和2年度岡谷子ども未来塾活動報告について【資料No.5】 (教育総務課)
4. 岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について【資料No.6】 (各課)

○ そ の 他

- ・行事等について(各課)
- ・その他

【次回開催予定】 3月11日(木) 定例教育委員会 9時30分～ 6階 605会議室

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、
教育委員 藤森 一俊、教育委員 小平 陽子

事務局（説明員）

教育部長 城田 守、教育総務課長 両角 秀孝、教育総務課主任指導主事 竹内 良之、
生涯学習課長 山田 勝由紀、スポーツ振興課長 小河原 義友、
教育総務課統括主幹 小口 明彦、教育総務課学校教育主幹 横内 哲郎、教育総務課主査 芳沢 幸祐

<会議録>

○開 会

岩本教育長： 皆さんおはようございます。ご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。

今日は2月10日でございます。如月ということですが如月の別名に初花月という言葉があります。その名の如く我が家の庭先に綺麗な黄色い福寿草が咲き出しており、とても綺麗です。そして、フキノトウもかなり芽を出してきて、本格的な春の訪れがすぐ近くまで来ているなど感じられます。その一方で、相変わらず新型コロナウイルス関係が心配ですが、昨日は長野県で、変異体ウイルスが検出されたというニュースも飛び込んできて、非常に心配をしているところであります。年度末に良い締めくくりができるように、新型コロナウイルスを乗り越え、みんなで思いやりと助け合いの心を大事にしながら、頑張っていきたいなと思っているところでありますので、よろしく願います。

本日の議事録署名委員ですが、太田委員、高木委員さんをお願いをしたいと思います。それでは、2月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

○教育長報告

1. 岡谷ラウンドテーブルについて

1月22日（金）に岡谷市教職員の研修会として、岡谷ラウンドテーブルが開催されました。ラウンドテーブルとは、様々な校種の教職員や教育関係者が自分のレポート事例を持ち寄り、4～5人のグループで、お互いの実践について語り合う熟議の場です。自分自身の教育活動をアウトプットし、他者に聴いてもらう。また、他者の思いを聴く中で自分自身を振り返り、教職員としての有りようを省察していく。そういった取り組みであります。

岡谷市の小中学校では、毎年2月に行われる福井大学のラウンドテーブルに20名程度の教職員が参加し、自己研鑽を図って参りました。しかし、今年度はコロナ禍ということで、大人数で福井を訪問することが難しいため、岡谷でラウンドテーブルを開催したところであります。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講師としてお招きしていた福井大学副学長の松木健一先生には、リモートでラウンドテーブルに参加していただきました。

密にならないように、会場を3つの会議室に分けて行いましたが、どのグループの先生方からも、真剣でありながら、肩の力を抜いた充実した語り合いの様子がうかがえました。

今回、初めて市の教職員研修会をリモートで行ってみたわけですが、部屋の設定の仕方や接続回線についてなど、課題も見えてまいりました。今後、改善を図りながら、今回の状況下にも合った新しい研修の形を探って参りたいと思っております。

2. 若手アーティスト育成公募展「挑戦そして飛躍」について

美術考古館では、2月19日（金）から3月21日（日）までの間、岡谷市出身・在住の若手作家であります宮坂絵美（みやさか えみ）さんの作品展「絵画は、歌う。」を開催いたします。

この若手アーティスト育成事業は、岡谷市にゆかりがあり、また、将来性のある若手作家に作品発表の場を提供し、地元での認知や飛躍につなげることを目的に平成30年度から取り組んでいます。今年度は2名の作家から応募があり、選考の結果、宮坂さんが採択されました。

宮坂さんは、女子美術大学から京都芸術大学（旧京都造形美術大学）に転学され、現在は、下諏訪町で「ギャラリーレモネアートワークス」を主宰し、雑誌の制作をするなど精力的に活動しています。宮坂さんの作品は、浮遊体をメインモチーフとした写真と描画で構成されており、それを柔らかく表現することによって、見る人の想像力

を刺激するものとなっております。3月7日(日)には、ご本人から作品への想いや制作過程等をお話いただく「アーティストトーク」も開催する予定であります。

展示終了後も必要に応じて宮坂さんの後押しをするとともに、今後も引き続き、他の地元出身者や岡谷市にゆかりのあるアーティストの支援や応援をしてみたいと考えております。

委員の皆さん方もこの機会に美術考古館に足を運んでいただけたらありがたいなと思っております。

3. 国民体育大会冬季スケート大会について

令和3年1月27日(水)から31日(日)に行われました第76回国民体育大会冬季スケート競技会は、岐阜県で開催され、岡谷市関係の選手6名、監督・スタッフ3名の、合わせて9名のみなさんが出場いたしました。選手6名は、全員が少年の部となる高校生でありました。

成績は、少年男子500メートルにおいて、岡谷南高校の五味春喜(ごみ はるき)選手が4位入賞、少年女子では、岡谷東高校の北原伊織(きたはら いおり)選手が500メートルと1000メートルで共に4位入賞を果たしました。また、岡谷南高校の野明花菜(のあけ かな)選手と岡谷東高校の北原伊織(きたはら いおり)選手が出場した2000メートルリレーで、長野県選抜チームが2位入賞を果たしました。

今大会、岡谷市に直接関係する9名には含んでおりませんが、岡谷市出身のスピードスケートの若手注目選手であります、現在、日本大学に所属する岡谷南高校出身の倉坪克拓(くらつぼ かつひろ)選手は、成年男子500メートルで見事優勝という素晴らしい成績を収められました。倉坪選手は中学、高校で全国優勝し、また、大学でもトップ選手として活躍しており、今後、オリンピック選手として、更にはメダリストを目指して頑張っていたきたいと願っているところであります。

長野県の総合成績は、スピード、ショートトラック、フィギュアをあわせた男女総合成績では、6連覇が懸かっていたところでしたが、北海道に及ばず2位、女子総合成績では6年連続で優勝という成績を収めました。コロナ禍での大会で、出場を辞退した県もありましたが、選手、監督、スタッフのみなさんが全力を尽くして戦った大会になったものと思います。

今回の国体では結果及ばずといった選手を含め、まだまだこれからが楽しみな若者ばかりであります。本市に関わる選手、スタッフの皆さんの今後の活躍に、ますます期待しております。

私からの報告は以上でございますが、ご質問、ご意見がございましたらお願いをいたします。

○議 題

1. 社会教育委員の委嘱について (生涯学習課)

2. 岡谷市教育委員会表彰について (教育総務課)

岩本教育長： 議事に入りたいと思いますが、この議題につきましても、人事に関わることでありますので、非公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

<委員全員から承認を得たため非公開とする>

岩本教育長： それではこの議題につきましても、本日の定例会の最後で扱いたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○報 告

1. 令和3年度予算(案)について (教育総務課)

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局(部長・担当課長)から令和3年度予算(案)について説明。>

岩本教育長： ただ今の内容について、何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

太田委員： 3ページと4ページで情報教育推進事業(GIGAスクール構想への対応)が2か所に違う金額であるのですが、この違いは何でしょうか。

事務局(両角)： 予算が小学校に関わる予算と中学校に関わる予算を別々に計上していますので、小学校分に配備した端末用の経費が3ページに記載されており、中学校分に配備した端末用の経費が4ページに記

載されています。

太田委員： はい。わかりました。小学校と中学校の違いですね。

あと、もう1点、スポーツ振興課のスポーツ施設整備事業で、来年度は市民水泳プールとやまびこ国際スケートセンターの改修ということですが、これ以外に何か細かいところで、改修、修繕の予算はあるのでしょうか。今年度はコロナ禍の中で、スポーツ大会の挨拶にほとんど行ってないので、そういう話はなかったのですが、今までご挨拶に伺うと、関係者の方から細かなことですが、いろんな設備で、ここを何とかして欲しい、そこを何とかして欲しいというようなお話があって、一つ一つの金額は決して大きくはないと思いますけれども、多岐に渡って、ちょっとずつ修繕をしていかなければいけないという部分はどうもありそうな感じなのですが、その辺への対応というのは、何かあるのでしょうか。

事務局(小河原)： 施設の小破の修繕につきましては、スポーツ施設はシンコースポーツに指定管理として委託をしており、その中で50万円未満の小破の修繕につきましては、指定管理者が行っていただくということで、委託料の中に修繕の予算がその中に組み込まれています。

緊急に修繕をしていただきたいという話があればスポーツ振興課の方に連絡をいただければ、指定管理者に修繕のお願いをするということでやっておりますので、修繕の要望等があれば、ご連絡をいただけたらと思います。

藤森委員： 教育総務課のGIGAスクール構想に関連して、小学校と中学校にそれぞれ予算があるということで、予算額は小学校費が約2,220万円、中学校費が約1,240万円ということで、事業内容としては、学習者用端末、学習支援ソフト拡充、フィルタリングソフト、端末保守等ということで、端末台数からして、例えば小学校2,278台の端末を導入して、さらにソフト拡充して保守を入れて、2,220万円の予算というのは、私のイメージでは結構安いと思ったのですが、端末が2,278台だとすれば、一台一万円しないので、その辺の内容を教えていただけたらと思います。

事務局(両角)： 3ページの小学校費で説明をさせていただきますが、小学校全体では3,556台の学習者用端末となります。国の規格に基づいて、45,000円以内で調達しなさいということですが、岡谷市が調達したものは、それに更に標準的なソフトを購入時につけておかなければなりませんので、運用していくためのソフトは購入時につけている部分もあります。新年度の計上分は、学習支援ソフトについては、既存の1クラス分のタブレットに導入している中学校は、eライブラリ、小学校がジャストマイルドリルという学習の支援ソフトですが、それをこのGIGAスクール用端末でも使える状態にしなければならぬので、新しい契約となります。ただし、これは1台単価幾らということではなくて、まとめた契約になりますので、一台ごとの契約よりは安くなっています。

それから、フィルタリングソフトも、導入した端末はMicrosoftのWindowsなのですが、標準装備のセキュリティソフトというは、すでに入っているものになります。ただし、ネットワークに接続していくためには、当然、フィルタリングをして有害な部分を排除しなければなりませんので、それは業者の見積りにより、小学校と中学校それぞれに導入ができる経費ということで予定しております。それ以外には、今、学校で先生たちが使っている端末の備品というのは、リースで調達するのが一般的な手段なのですが、今回は国の予算措置の関係で、全部買い取りとしております。ですから保守契約というものがありません。ただ、端末が壊れた場合の修繕の支援はその都度、1件ごとやらなければいけませんので、そのための修繕料は、年間100万円程度なのですが、この予算の中に盛り込んでいます。壊れたら直しますという対応とすることで、一般的なコストよりは安く抑えられているというところがメリットだと思います。

高木委員： 6ページの美術考古館のアーティスト育成事業ですが、地域や年齢の幅を広げていくというのは、とても大事なことだと思っています。また、スポーツ振興課の方でも、65歳以上の方だけに制限せず、市外の方にも広げていくということで、地域を広く捉えていくことが、岡谷に人を呼び込んで岡谷を活性化させていくことに繋がっていくのではないかなと思って、とてもどちらも良いなと思いました。小平陽子さんのイラスト展もとても楽しみです。

質問なのですが、3ページの教育総務課の幼保小接続期連携事業でお聞きしたいのです

が、小学1年生を対象に、学習の基礎となる「読み」の能力を高めるための指導パッケージの活用というのがありますが、前回、川岸小学校の林教頭先生からも、この幼保小の取り組みについてお聞きして、非常に岡谷市で先進的に取り組んでいるということがよくわかったのですが、予算がついてないマンパワー事業ということで、この活用というのは、どのようなものを、どのようにしていくのか、教えてください。

事務局(両角)： 促音や長音などの特殊音節が苦手な子どもさん、具体的に言うと、「人魚」という言葉を「にんぎょうー」と言ってしまうたり、逆になったり、伸ばしたり、「きつつき」を「きっつき」と言ってしまうというように、伸ばしたり、振じったりする言葉が苦手な子どもがいます。そういう子どもたちが、早くから訓練をしていくと苦手を解消できるということがありまして、そのためのパッケージソフトとして、指導的な部分で使えるテキストなのですけれども、まずはその子の状態を評価する、アセスメントするということから入っていきます。1年生を対象に行い、指導に生かしていく、そのパッケージングの指導書がMIMというものになります。

予算が計上していないのは、今年度(令和2年度)からやっていきたいということで、その必要な消耗品で買えるパッケージの部分については今年度、すでに購入をしております。ですので、来年度は購入したものを活用して、さらに実践をしていこうというところの取り組みになるので、このような記載になっております。

高木委員： 活用していくのは各学校の担任の先生ということですか。

事務局(両角)： その通りです。

小平委員： 全体的にバランスの良い事業をたくさん細やかにしてくださっていて、本当にありがたいなと思って拝見しました。美術考古館の展示については、素晴らしい機会をいただけて、とてもありがたいと思います。やはり若手アーティスト育成事業というのは今まで、とても良い取り組みをしていると感じていたのですが、やはり作家さんというのは、なかなか生業にならなくて、若手作家さんなどは特にそうなのですが、個展をやりたいくても、会場を借りるだけで物凄い金額がかかるということと、あと、本当に売り絵だけを展示する方とそうでない方がいるので、そこで自己表現をしたいというアートのチャレンジをしていきたい人にとっては、とても場所というかギャラリーを借りるということだけでも、すごくネックになっていて、結局やれずに終わってしまうということもあるので、本当にこういうチャレンジをさせてくださるというのは、物凄くありがたいなと思いました。今の館長さんのお考えにあるのではないかとと思うのですが、死んでから自分の絵が有名になったという画家や作家さんの話もありますけど、これからはちょっとそういうことは違うのではないかなと思います。市民も楽しめる、自分も参加できる。そういう考え方が広がってきていて、とてもありがたい取り組みをいただいているなと思います。

対象の幅を広げたというのは、要望があったということですか。

事務局(山田)： 当初は、今まで通り地元で根差した人にターゲットを当てていく予定でしたが、予算のヒアリングをする中で、岡谷の美術考古館は、経験の浅い作家さんの後押しを積極的にやっていきますというところ、そこが岡谷美術考古館の特色だということとを広くアピールしていく良いチャンスになるのではないかとということで、それならば狭い範囲に絞らず、岡谷の美術考古館は県内の経験の浅い作家を支援しています。そういう美術考古館ですというアピールポイントにしていきたいということで、作り込みをさせてもらった経過があります。

小平委員： 全体的にバランスの良い事業をたくさん細やかにしてくださっていて、本当にありがたいなと思います。移住者の方の中で、最近何人かお知り合いになった方の中にも、カメラマンであったりとか、2拠点で仕事をしたりという方も、ちらほらお見かけするのですが、町の空き家とか小民家を改装したギャラリーなどで作品展をしたいとか、実際にやっている方も見かけましたし、そういう方たちがやはりきちんとこういう場で、扱っていただけるということは、本当に外に向けての発信としてとても素晴らしいと思います。

それから、生涯学習活動センターの岡谷学ですけれども、男性に人気ということで商工会議所の主催の方だったと思うのですが、岡谷力というのに参加してみて、古墳の辺りとか回っ

たりしてとても面白かったのですけれども、やっぱり根強いファンの方もいらっしゃるということと、私が昔話に取り組んだ時に、歴史を辿っていかなければならないこともたくさんあって、そういうところを辿っていくと本当に面白いなというところを感じたのですけれども、男性が多く参加されるということで、外になかなか出て集うことがないことが、ちょっと男性が多いとお聞きしていますので、こういう講座が、この予算額で充実させていけるのは良いことだと思います。

草間職務代理者： 4ページですが、コロナ禍の中において就学援助の希望の方が増えていると思います。今年度、来年度の予算は、昨年度に比べて就学援助費と特別支援教育就学奨励費が増えているのかということと、小学校と中学校を比べると、ほぼ予算額が同じなのですが、小学校の場合は当然、生徒数が多いので就学援助費がほぼ同額だとすると、中学の方が援助を受けている人が多いのか、それとも小学校と中学校で援助の内容が異なっていて、同じぐらいの予算になっているのかお聞きして、岡谷市の教育委員会として、今後このコロナ禍の中でどうやって助けていくかお聞きします。

事務局(両角)： 今回は予算ですので、次年度予算と今年度予算での対比ということになりますが、小学校費、中学校費ともに10万円程度の微増となります。人数については家計が急変しているというような状況があれば、随時受け付けるという形での対応としているのですけれども、就学援助の認定者数については、急増しているとか、そういうこと自体はなくて、今年度もそんなに伸びていないという状況です。ただ、若干多くはなっているという傾向はありますけれども、そういうことで、予算についても国の基準に基づいて、例えば学用品費、活動費、給食費それぞれに人数を設定しております。人数の対比としましても、年次の入れ替えがあります。卒業して新しく一年生が入りますので、その年その年の認定者の多いクラス、多い年度というのがあります。人数ですと小学校の方は当然、倍ぐらいの人数となりますが、その国の基準により単価が違っていて、例えば修学旅行も小学校は31,000円、中学校になると59,000円というようにほぼ倍ぐらいの金額差となります。そういうことで、結果として予算については、同じぐらいの予算規模になっているという傾向になるのかなと思います。

草間職務代理者： もし、新型コロナウイルスの影響などで、例えば家計が急変した場合はある程度の対応はできる体制は出来ているのでしょうか。

事務局(両角)： 前年度の収入を基準にするということになりますが、そこを今回は看做すということで、今の実態に合わせて認定ができるようになっていきます。

岩本教育長： 色々なご質問、ご意見ありがとうございました。

本年度の予算は市長部局の皆さんのご配慮でほとんど要求通り、認めていただいております。来年度になりましたら、また教育委員の皆さんのお力もお借りしながら、しっかりとその予算を使って事業を行っていきたいと思っております。

それでは報告1については以上とさせていただきます。

2. 岡谷市公共施設個別施設計画(案)について (各課)

岩本教育長： 報告事項2について事務局より説明をお願いします。

<事務局(城田部長)から岡谷市公共施設個別施設計画(案)について説明。>

岩本教育長： ただ今の内容について、何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

太田委員： 評価の点なのですが、12ページにある軸で評価されるということですが、多分、これに基づいて出ていると思う偏差値についてですが、偏差値ですから高い方、建物品質であれば、より良い状態、利用運営状況であれば、より良い状態ということだと思いますけど、どのように偏差値は算出されているのでしょうか。

事務局(城田)： 非常に説明が難しい部分がありますけれども、それぞれの指標に基づいて一次評価では、機械的に数値を並べたものです。それによって数値の高い方が良いという部分ですけれども、それだけで評価するということにはいきませんから、二次評価という中では、施設の設置意義、

施設機能、施設の利用状況、施設の劣化度などを考慮した評価を合わせる中で方向性を出しました。平成28年5月に出した基本方針に基づいて具体化をして、方向性を今回出しました。ただ、実際に具体的と言いましても、今、説明したように見直しなどの施設につきましても、ほとんどが第1期の5年間で、検討して方向性を出すという形になっている状況です。

太田委員： その偏差値を算出する基になっている細かな項目みたいなものというのは、どこかで情報が見られるのですか。

事務局(両角)： 基本的には劣化度ですので、対応年数の経過と建築的なシステムで見た仕上げのグレードなど、そういったものも専門的に評定をして偏差値に置き換えております。例えば、26ページの学校教育系施設をご覧いただければ、偏差値の低い方は古いというように読み取れる形になります。それから、入館者数や利用者数などの部分がソフトの数字に反映されていますので、それを入れるべきではない学校施設は、児童数の多い少ないでは評定すべきではない施設ですので、こういった判定はしていません。ただし、集客施設の場合は、どれだけのニーズに応えていくかという要素が含まれていますので、それが継続するかどうかということの評定になることで、利用者数が反映されているというようになります。偏差値算出の細かい項目につきましては、公表されておられません。

高木委員： 7ページの一番下に公共施設(普通会計建物分)の数値目標とあるのですが、何の数値目標かわからないのですが、延床面積の縮減の数値目標でしょうか。縮減の数値目標などの記載がなく、ただ数値目標でいいのでしょうか。

事務局(両角)： ▲はマイナスなので削減の目標だと思います。

高木委員： 言葉として、削減の数値目標などの記載はここになくてもいいものなのですか。私はあつた方が良く思うのですが。

事務局(両角)： 大変申し訳ございません。市長部局の行政管理課で策定をしております、この形で調製されていますのでご意見として受けたまわらせていただきます。

草間職務代理者： 教育関係で小中学校の改修ですが、岡谷東部中学校が終わると、所謂、大規模改修というのはすべて終了したということですか。

事務局(両角)： 市内の学校施設ですが、例えば、小井川小学校は校舎も体育館も古く、岡谷東部中学校も管理教室棟はここで改修していますが、体育館も同じ建築年度ですので、次を待つということですので学校施設で捉えますと、この計画とは別に、魅力と活力ある学校づくり推進プランのハード整備版の計画で、実は同じ内容の個別施設計画というのを先行して策定しております。ですので、教育委員会学校施設の部分については、岡谷東部中学校が終わりましたら、次の長寿命化、どこに手を入れようかというようなプランニングをしていきます。当然、その年の財政状況等もありますので、すぐに着手できるという状況ではありませんけれども、この次はどこをしていこうかというのを、今年度以降でまた検討していくというような状況ですので、大規模改修は引き続きやっていきたいと予定です。

岩本教育長： この問題は非常に大きい問題だと思います。皆さんからご意見をいただきながら、委員会としての考えをしっかりと持っていけたらいいなと思っております。まずはこの計画をよく読んでいただいて、またお聞かせいただけたらありがたいと思います。よろしく願いいたします。
それでは先に進みたいと思います。

3. 令和2年度岡谷子ども未来塾活動報告について (教育総務課)

岩本教育長： 報告事項3について事務局より説明をお願いします。

<事務局(両角)から令和2年度岡谷子ども未来塾活動報告について説明。>

岩本教育長： ただ今の内容について、何かございましたらお願いします。

高木委員： 受講者の皆さんと保護者の皆さんの直の声をこうして読むことができ、とても私も感動して読みました。子供たちが分かるということがどんなに大切なことか、「その分かる。だから勉強が楽しい。」ということを感じてくれているということが分かり、大変嬉しく思いました。

また、分かるということだけではなくて、子供たちが求めているのは、「休憩の時にも話せて楽しかった。」という、その先生との心の交流を求めているのだなというのがあって、それに指導の方たちがそれに応えてくださっているという、分かりやすく教えてくださって、しかもその子供たちの心の交流の求めにも応えてくださっている、その指導の方たちに本当にありがとうございました。この事業が継続されていくことは、本当にとっても、大事なことだなと思いました。

一つお聞きしたいのは、直接、子ども未来塾の関係ではないのですが、新聞で見たのですが、算数について、教科担任制が導入されていくということで、そのことについてお聞きできればと思います。

岩本教育長：教科担任制については、こちらの方には、まだ具体的に指示は来ていないのですが、教科担任制について検討していく方向性は岡谷市ではもう出しております。一部を教科担任制でやっている学校もあります。私も以前から小学校にも教科担任制を導入して学級だけではなく、複数で子供を見ていくというシステム、そして教師の専門性を生かして、子供たちの学力を高めていく。色々な効果がありますので、算数の教科担任制を行うとしても、慌てて何かやらなければならないということはないと思っています。徐々に取り組んでいるところですので、よろしく願いいたします。

藤森委員：参加された方のアンケートの感想を見ると、非常に良い事業だと思います。参加したきっかけというアンケートの結果ですが、参加者本人と保護者の方に同じ質問があって、自分の希望という回答が多く、自主的に参加している子どもたちが多いということで、それはそれぞれごく頼もしく思いますが、先生に勧められて参加したという回答が令和2年だと生徒が4人で、保護者さんの方がゼロということで、そもそもこういう課外的な学校の授業とは切り離してやっている事業なので、民間の学習塾と学校の教育との中間的というような、私のイメージが間違っているかもしれませんが、あまり先生が勧めるというケースは、少ないというのが妥当と見ていいのか、いや、もっと先生たちもこういう補助授業があるので、少し補助的に学習サポートが必要な子どもたちに勧めた方が良いのかという見解をお持ちであればお聞かせいただけたらと思います。

事務局(両角)：この制度自体、国の政策によるものですが、国の言い方は無料学習塾という形で、経済的な環境によらず、こうした学習、学びの機会を創出するというところで、国の財政的な関わりが元で、岡谷市でも実施しています。ベースのところ、この受講生の皆さんが、一般的な学習塾に通っていますかというようなアンケートもさせていただいております。塾に通っている方もいますけれども、約7割の方は、塾に通っていない家庭の子たちに集まっていたというところで、学習習慣の定着でしたり、学力向上ということで学習意欲を高めていこうというところで、必要な取り組みという考え方です。ですので、学習に心配な子供たちに対して、先生たちも心配しておりますので、先生方にも積極的に声をかけていただき、こういう機会、学習のきっかけを作っていただくのが大事だと考えています。

小平委員：とても満足との回答が増えているので、本当に好評だったのだと思います。藤森委員さんもおっしゃられましたが、先生や保護者が声がけて、本人は嫌がったのだけれどもという感想もあるのですけれど、でも、これがきっかけでお子さん自らではなくて、保護者の方が行かせたとしても、本人が楽しかったという結果にもなることもあります。今後、好評で更に希望者が増えた場合に対応は可能なのでしょうか。

事務局(両角)：当初の立ち上げから、今年度も含めてパソコン教室で、学習支援ソフトを使って実施していくものですので、パソコン室のパソコン台数の制約がありましたが、GIGAスクールが始まり、パソコン台数の制約がなくなります。もっとニーズが高まってくれば、当然、指導員の配置の問題がありますけれども、普通の教室でもこの事業もできるように環境が整ってきますので、受講の希望者が多くても、予算の中で対応できればというところがありますけれども、必要があれば対応していきたいと思います。

小平委員：色んな形で今後の展開が考えられますし、ツールだけではなくて、先生との触れ合いも同時にあるというのは、とても良い取り組みになる感じがします。

岩本教育長： 学校の先生と授業をやるのは、当たり前姿であり、やっぱり地域の方と一緒に学びを進めていくという良さ。これも大事にしていきたいなと思っています。そして、こういった未来塾だけではなくて、日常の岡谷スタンダードカリキュラムなど、色々な授業の場面でも地域人材を活用して、子どもと学びを進めていただくというようなことも、これからとても大事にしていきたいと思っておりますので、そんな意味からもこの未来塾というのは一つの試金石になって、先生たちがどんどん宣伝して、大勢来てもらうのも一つの手だし、先生たちは紹介する時に全員に向かってこういうのがありますよという、そういう紹介の中で子供が行ってみたいというようになって、それによって先生に紹介してもらったというアンケートの回答となったかもしれません。一人一人の子供が本当にやってみたい、学びたいというその気持ちをまず持ってくれるかどうか、そこがポイントかなと思っていますので、これからも色々工夫を凝らして、この未来塾が充実していくように、みんなで知恵を出し合っていきたいと思います。

それでは、よろしいでしょうか。次に行かせていただきます。

4. 岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について（教育総務課）

岩本教育長： 報告事項4について事務局より説明をお願いします。

<事務局（両角・山田）から岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について説明。>

岩本教育長： ただ今の内容について、質問や意見はありますか。無いようでしたら、報告事項は以上となります。次にその他ということで、事務局からお願いします。

○その他

・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

岡谷市生涯学習大学×IT講座「子どもにスマホを持たせる前に」

3月6日（土）10:30～11:30

会場 カルチャーセンター多目的ホール

講師 NTTドコモ スマホ・ケータイ安全教室インストラクター

定員40名 聴講無料 会場と講師をリモート接続

太田委員： 子どもにスマホを持たせる前の講座なのですが、これはこのチラシを例えば学校を通じて全家庭にお配りするなどの周知はするのでしょうか。夏休み前の地域の会があるたびに、毎年毎年この学校へ行っても、必ずスマホの扱い方が何とかならないのかという話題になります。今回は「お子さんの入学・進学に伴い」という枕詞になっていますけど、非常にニーズの高いものだと思うので、ぜひ何らかの形で今後も市としても、ちゃんと考えて取り組んで、情報発信をしているというような形をお見せしていくことが必要だと思いますので、またご検討ください。

事務局（山田）： 密にならないように、定員も少ないですから、また周知方法については検討させていただきます。

小平委員： 私もとても興味がありますが、これはシルキーチャンネルなどで放映するのですか。

事務局（山田）： 講師との兼ね合いになってくるかと思いますが、ドコモさんの承諾があれば、可能だとは思いますが。（その後、今回はシルキーチャンネルでの放映はしないことに決定。）

岩本教育長： 密にならないのが最優先ですので、また別の機会でこういった講習会をやっていく必要があると思っています。やるならカノラホールを借りて100人くらい入るようにやるとか、そういったこともまた考えなきゃいけないなと思います。いずれにしてもこれ非常に、今、SNS上のトラブルは多いですので、ぜひ保護者の方の啓蒙も兼ねて、大事にしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

< 11時15分から11時25分まで10分間の休憩 >

岩本教育長： それでは議題に入りたいと思います。非公開の議題となりますので傍聴人につきましては、申し訳ありませんが退席をお願いいたします。

○議 題

1. 社会教育委員の委嘱について (生涯学習課)

岩本教育長： 議題1について事務局より説明をお願いします。

<事務局(山田)から社会教育委員の委嘱について説明し、承認される。>

2. 岡谷市教育委員会表彰について (教育総務課・生涯学習課)

岩本教育長： 議題2について事務局より説明をお願いします。

<事務局(両角・山田)から岡谷市教育委員会表彰について説明し、承認される。>

・その他

岩本教育長： そのほか教育委員さんの方からなにかあれば、お願いいたします。
ほかに無いようでしたら、事務局より次回の開催予定についてお願いします。

<次回開催日確認>

岩本教育長： それでは長時間にわたってしまいましたけれども、それでは以上をもちまして、2月の定例教育委員会を終了とします。

午前11時30分終了

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

令和 3 年 3 月 11 日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

太田博久

署 名 委 員

高木千奈美

調 製 職 員

城田守